



2018年12月期 第2四半期

決算説明会



2018年8月10日
SBSホールディングス株式会社

目 次

- **2018年12月期
第2四半期決算概要
及び通期見通しについて**

執行役員財務部長 遠藤 隆

- **2018年度グループ経営について**

代表取締役社長 鎌田 正彦



**2018年12月期
第2四半期決算概要
及び通期見通しについて**

執行役員財務部長 遠藤 隆

18年6月期 連結業績(対前年同期)

(単位:百万円)

	17年度2Q		18年度2Q			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	71,762	100%	77,178	100%	5,416	7.5%
営業利益	1,743	2.4%	2,337	3.0%	594	34.1%
経常利益	2,055	2.9%	2,233	2.9%	177	8.6%
当期純利益	1,417	2.0%	1,221	1.6%	△196	△13.9%

■ 連結業績(対計画比較)

(単位:百万円)

	18年度上半期					
	予想値	構成比	実績値	構成比	差異額	達成率
売上高	75,000	100%	77,178	100%	2,178	102.9%
営業利益	2,000	2.7%	2,337	3.0%	337	116.9%
経常利益	2,100	2.8%	2,233	2.9%	133	106.4%
当期純利益	1,300	1.7%	1,221	1.6%	△78	94.0%

※予想値は2018年2月13日に発表したものです。

セグメント別業績(対前年同期比)

(単位:百万円)

セグメント累計		17年度2Q 実績値	18年度2Q		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	67,153	72,432	5,278	7.9%
	営業利益 利益率	928 1.4%	1,653 2.3%	725	78.1%
不 動 産	売上高	1,302	1,435	133	10.2%
	営業利益 利益率	653 50.2%	796 55.5%	143	21.9%
そ の 他	売上高	3,306	3,310	4	0.1%
	営業利益 利益率	229 6.9%	158 4.8%	△71	△31.0%

※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

※2017年2Qの調整額は△67百万円、2018年の調整額は△270百万円です。

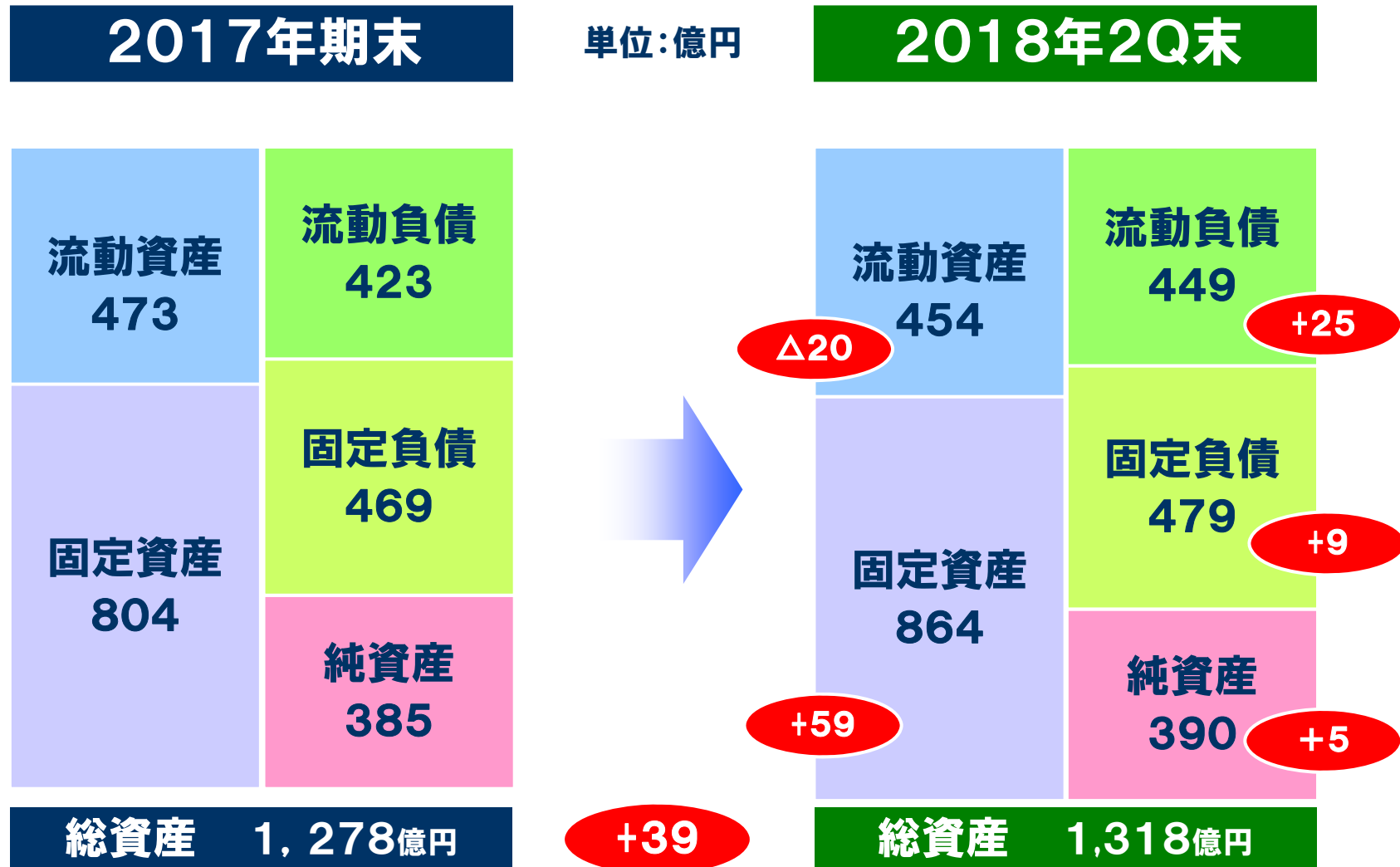
セグメント別業績(参考)

(単位:百万円)

セグメント		17年度2Q 実績値	18年度2Q		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	67,153	72,432	5,278	7.9%
	調整前 営業利益 利益率	1,689 2.5%	2,402 3.3%	713	42.2%
不 動 産	売上高	1,302	1,435	133	10.2%
	調整前 営業利益 利益率	695 53.4%	835 58.2%	139	20.1%
そ の 他	売上高	3,306	3,310	4	0.1%
	調整前 営業利益 利益率	268 8.1%	189 5.7%	△79	△29.6%

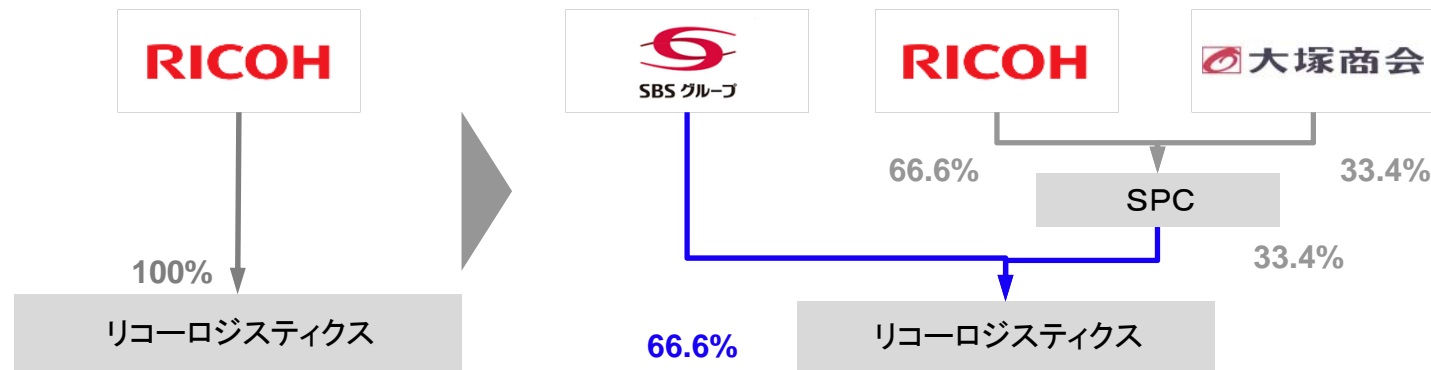
※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

連結貸借対照表の推移



リコーロジスティクスの株式譲受について

- 概要：8月1日、リコー(株)からリコーロジスティクス(株)の普通株式433万3333株を、180億円で取得
(議決権所有割合は66.6%、DD費用3億円)

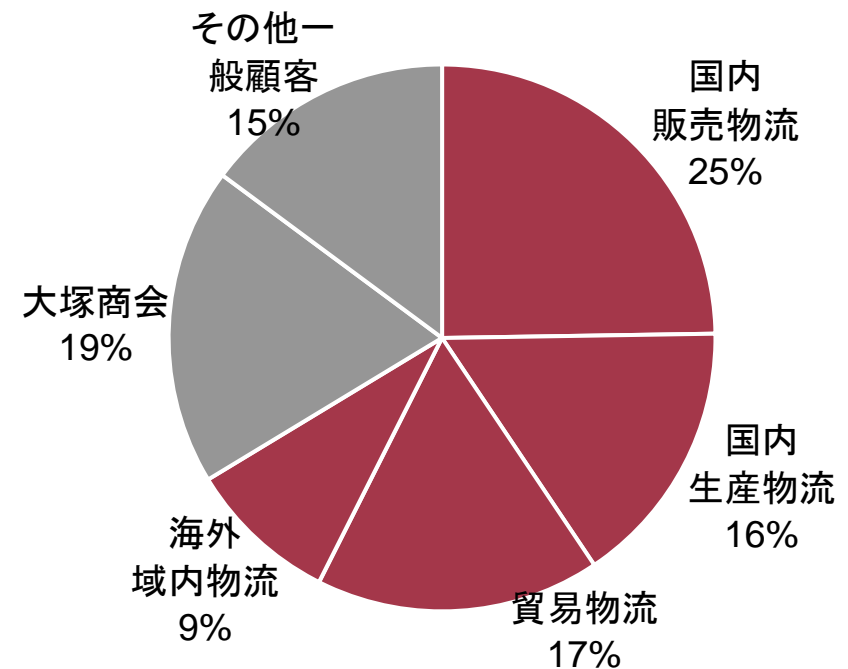


- 目的：創業30周年の当期は第2の創業期
更なる成長に不可欠な経営資源を拡充する

リコーロジスティクス株式会社の概要



セグメント別売上高構成比



概要

社名	リコーロジスティクス株式会社
本社	東京都大田区京浜島1-2-6
代表者	代表取締役社長 若松 勝久
設立	1964年2月
資本金	4億4,800万円
業績	売上:717億円/営業利益:19億円
拠点数	110拠点(国内:105/海外:5)
従業員	4,034名(うち正社員1,780名)

リコーロジスティクスの直近3か年実績

(単位:百万円)

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
連結売上高	74,679	71,420	71,725
連結営業利益	1,957	2,182	1,929
売上高営業利益率	2.6%	3.1%	2.7%
連結経常利益	1,867	2,092	2,057
当期純利益	1,278	1,294	1,428
連結純資産	14,502	13,430	13,939
連結総資産	33,634	32,569	33,246

18年12月期 連結業績修正予想

(単位:百万円)

	18年度					
	当初予想値	構成比	修正予想値	構成比	差異額	達成率
売上高	160,000	100%	202,000	100%	42,000	126.3%
営業利益	7,000	4.4%	7,500	3.7%	500	107.1%
経常利益	7,200	4.5%	7,200	3.6%	-	100.0%
当期純利益	4,400	2.8%	4,000	2.0%	△400	90.9%

■ 剰余金の配当

■ 2018年12月期 期末配当 【基準日:2018年12月31日】

1株当たりの予想配当金 : 21円

- 2017年12月期 創業30周年記念配当3円の上乗せ水準を維持



2018年度 グループ経営について

代表取締役社長 鎌田 正彦

3PL事業の受注動向

■ 新規受注、既存拡大ともに好調

- 事例公開をHPや広報誌を通じて行い、引き合い増につなげる
- 組織営業で確実なクロージング

■ 上期の主な稼働実績



顧客企業(業種)	稼働月	拠点
ネット系アミューズメント業	3月	SBSロジコム 印西物流センター
EC通販業(美容・健康商品)	3月	SBSロジコム 印西第2営業所
大手小売業(コンテンツ商品)	3月	日本レコードセンター(厚木)
大手小売業(生活雑貨)	5月	SBSロジコム 南港営業所
卸売業(スポーツ用品)	5月	SBSロジコム 秦野支店

物流事業トピックス

■ ラストワンマイル事業が拡大

- ドライバー採用は概ね順調
- SBSロジコム、SBSフレックもサービス開始

■ 即配事業も新規受注増加

- 大手宅配料金の大幅値上げに伴う委託先見直しの動き

■ 輸送事業の効率化に着手

- 車両ごとの生産性をデータ化（SBSロジコム）
- 配車効率向上、積載率改善



「南港物流センター」(19年3月竣工予定)

■ 工事の進捗は順調

- SBSロジコムHPにて「[進捗写真](#)」掲載中

■ 営業活動進捗

- 6～7割内定
(大手百貨店、小売業など)
- 業務用什器製造・販売業、EC通販業などが検討中
- SBSロジコムHPにて「[バーチャル内覧会](#)」公開中



名 称	南港物流センター
住 所	大阪市住之江区南港2丁目
敷地面積	24,858㎡ (約7千500坪)
延床面積	61,274㎡ (約1.8万坪)
構 造	鉄骨造地上4階建(一部SRC造)
設計施工	大和ハウス工業株式会社
着 工	2017年10月
竣工(予定)	2019年3月

「野田瀬戸プロジェクト」(2019年12月着工予定)

■ 賃貸面積約6.5万坪、グループ過去最大規模の物流施設開発

- 投資額約350億円
- 常磐道「柏IC」から約7分
- 本年6月、土地を取得(現在、造成工事中)
- EC通販企業の3PLを主要テナントとして想定
- 自動化・ロボット等の実験的導入も視野



名称	野田物流センター		
住所	千葉県野田市瀬戸		
	合計(A+B)	A棟	B棟
建築敷地面積	115,857㎡ (約3.5万坪)	53,208㎡ (約1.6万坪)	62,649㎡ (約1.9万坪)
延床面積	265,964㎡ (約8.0万坪)	122,602㎡ (約3.7万坪)	143,362㎡ (約4.3万坪)
着工(予定)		2019年12月	2021年中
竣工(予定)		2021年夏	2023年春



リコーロジスティクス株式会社の 株式取得について

リコーロジスティクスの強み

■ メーカー系物流サービス

- リコー様、大塚商会様などの安定したお客様基盤

■ 全国規模の物流ネットワーク

- 精密機器、オフィスサプライ用品の配送網



■ 調達・生産物流、国際物流に営業基盤

- 調達、生産、販売物流
- フォワーディング等

■ 倉庫自動化、IT化技術

- 高い生産管理技術から生まれた高度な知見、ノウハウ

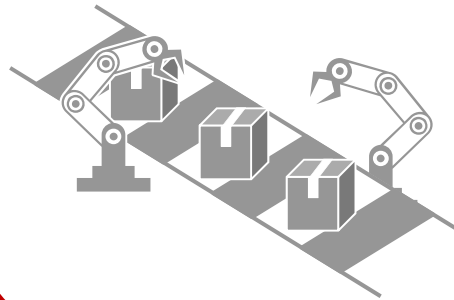
協働に期待するシナジー

- 両社とも主要な事業領域は3PL事業でありながら得意な領域が異なり、**高い相互補完性がある**

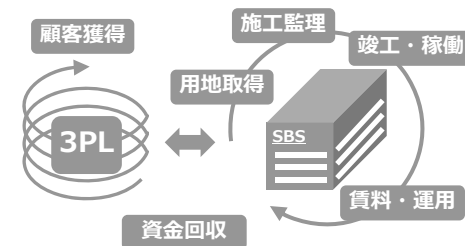
全国ネットワーク
の強化



機械化・自動化
への対応



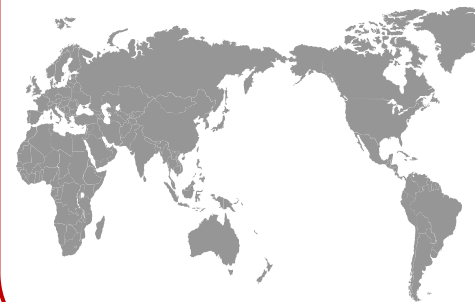
物流不動産の開発に
おける事業モデルの拡大



サプライチェーン
マネジメントの強化



海外事業の拡大



相互活用可能な経営資源

リコーロジスティクス

- 精密機器、
オフィスサプライ用品
の全国配送網
- 海外事業
- フォワーディング
- LT^(※)を導入した倉庫
の自動化、機械化

SBSグループ

- 物流施設開発
- 首都圏を中心とした
自社配送網
- パワーゲート付車輛
の全国配送網
- 人材派遣
- 物流関連の資材提供

(※) Logistics Technologyの略

シナジー効果を最大化した
グループ総合力の発現をめざす

■ 社風の親和性

■ “人を大切にする” “チャレンジ精神” “オープンマインド” 共通の価値観、社風に高い親和性

- グループ横断的な分科会を、地域や職掌単位で
順次開催予定

《トピックス》

7月31日午後、約220名の両社幹部社員が一堂に会し、事業プレゼンと懇親会を開催。
懇親会では様々な協働アイデアが生まれる。



■ 開始予定のシナジープロジェクト

- (1) ラストワンマイル事業
- (2) 輸送技術と全国配送網
- (3) 海外事業推進
- (4) ロジスティクス・テクノロジーの共有

■ シナジーPJ (1) ラストワンマイル事業

■ ラストワンマイル事業を全国展開

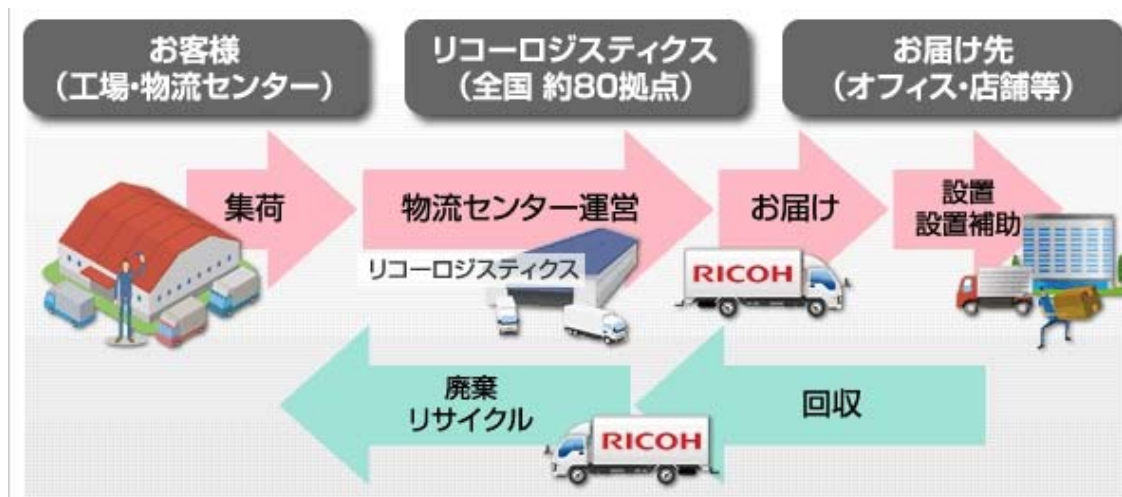
- SBS即配サポートが首都圏中心に行うラストワンマイル事業を、リコーロジスティクスの全国物流ネットワークを活用して展開
- 中部、関西圏の即配事業(BtoB)から着手
- 提案力・分析力・現場力に「配送力」を兼備する
3PLサービスモデルの実現へ



■ シナジーPJ (2) 輸送技術と全国物流網

■ リコーロジスティクスの精密機器・電子部品輸送に係る輸送技術及び全国配送ネットワーク

- リコーロジスティクスの精密機器、電子部品に係る輸送・保管・梱包等の専門技術をグループ全体で共有
- SBSグループの営業力を活用し、上記技術とネットワークを有効活用



・下見
・養生
・搬入
・設置・設置補助
・同時回収
・梱包材引き取り

段差搬入作業



キャリアアップ作業



・包装設計
・包装資材提供
・集荷



循環型エコ包装

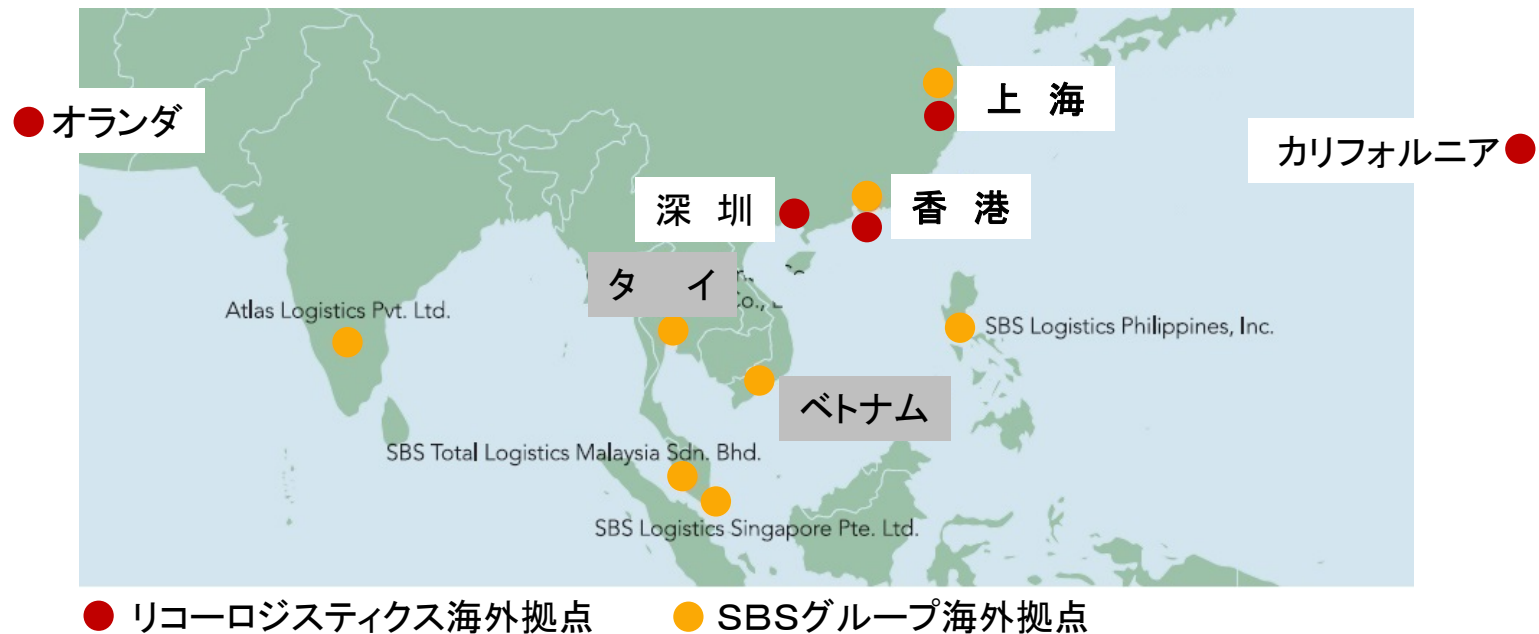
・入庫
・保管
・出庫
・運送手配



■ シナジーPJ (3) 海外事業

■ 海外拠点の融合、相互活用による海外事業推進

- 価格競争力のあるリコーロジスティクスのタリフ活用
- SBSグループのタイ、ベトナムの拠点を、リコーロジスティクスの主要顧客向けビジネスに活用
- 重複する現地法人の再編



シナジーPJ (4) ロジスティクス・テクノロジーの共有

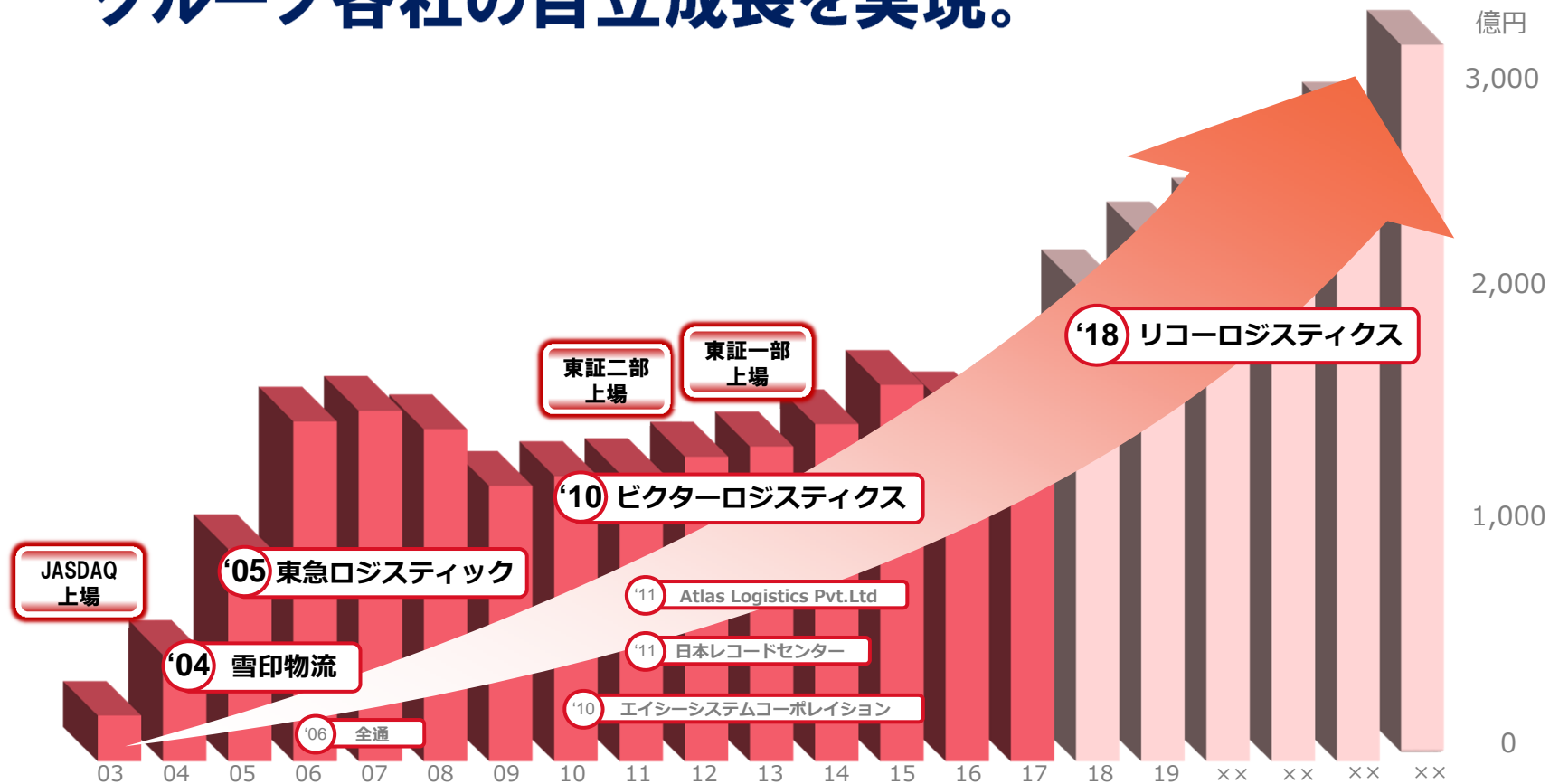
未来型倉庫開発の布石

- リコーロジスティクスのLT (Logistics Technology) 専門集団 (ロジスティクスソリューション本部) の技術・ノウハウと、SBSグループの物流施設開発力・営業力を融合させ、先進技術導入した倉庫開発に挑戦。



■ 成長を実現する、SBSグループのM&A

- 各事業会社の「強み」をそのまま生かしながら、「弱み」をSBSグループのリソースにより補うことでグループ各社の自立成長を実現。





SBS GROUP

For Your Dreams.